

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		未熟児養育事業			担当課	保健センター	担当係	保健指導第二係	管理番号	29324
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり			根拠法令 個別計画等	母子保健法 深谷市母子保健法施行規則 深谷市未熟児養育医療給付実施要領 養育医療の給付に関する費用徴収実施要領			
	小項目	1	健康づくりの推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療の給付を行うとともに、訪問指導等を通じて、未熟児の健やかな成長と保護者への育児支援を行うものである。								
目的 ※何のために		未熟児の健やかな成長を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		未熟児とその保護者								
手段 ※どのように		未熟児養育医療の給付、未熟児訪問指導を行う。								
成果 ※何を求めるか		未熟児の健やかな成長を図るため、未熟児とその保護者に対して未熟児養育医療の給付、未熟児訪問指導等を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減、未熟児特有の養育を理解し子育て意識の醸成に繋がる。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	5	母子保健費	未熟児養育事業	21,422,681
本事業の 主な業務		・未熟児養育医療の給付							・	
		・未熟児訪問指導							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	11,815,000	11,828,000	12,376,000	23,127,000	15,617,000	
	決算額	11,449,671	9,299,529	9,908,241	21,422,681	0	
	財源内訳	国支出金	3,291,750	3,296,300	3,320,100	2,992,150	6,602,000
		県支出金	1,645,875	1,648,150	1,660,050	1,496,075	3,301,000
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	2,417,570	1,846,640	1,944,910	2,102,370	2,395,000
		一般財源	4,094,476	2,508,439	2,983,181	14,832,086	3,319,000
人件費	従事職員数(人)	0.57	0.57	0.57	0.54	0.54	
	人件費相当試算※	4,485,648	4,565,795	4,686,678	4,577,631	4,756,584	
総事業費試算		15,935,319	13,865,324	14,594,919	26,000,312	20,373,584	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	未熟児訪問回数	目標値	回						
		実績値		51.00	36.00	36.00	31.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		未熟児の出生数により変動するため設定できない / 訪問回数（延べ）						
	実績値の算出式								
活動指標 2	養育医療券の交付数	目標値	件						
		実績値		46.00	30.00	31.00	23.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請による交付であるため目標値の設定はできない / 交付数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	養育医療給付件数	目標値	件						
		実績値		118.00	88.00	76.00	78.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		未熟児 1 人あたりの養育医療給付件数は児の状況により変わるため設定できない / 養育医療給付延件数						
	実績値の算出式								
成果指標 2	養育医療給付額	目標値	千円						
		実績値		11,437.00	9,288.00	9,897.00	21,420.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請による交付であるため目標値の設定はできない / 養育医療給付額（市支弁額）						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	未熟児養育医療の申請者は減少傾向だが、1,000g未満の超低出生体重児が3人いるほか、退院時に医療的ケアが必要な児もあり、児の出生間もない時期から、産婦訪問や電話支援を実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	令和7年度は、生活保護受給世帯に超低出生体重児が出生したことから、医療費が大幅に増加したが、補正等にて予算を確保し、適切に医療を給付することができた。未熟児養育医療は児の出生体重や疾病、生活保護受給世帯等の状況により、支給件数、給付額が大きく変動しやすい。
			評価者 保健指導第1係 呉 明香 第2係 小井土 和美

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	未熟児養育医療の対象者の支援を適切に実施するために、データ管理できている。
			評価者 保健指導第1係 呉 明香 第2係 小井土 和美